

令和3年度文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

ひまわり学級

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語 算数	<ul style="list-style-type: none"> ○学年間においても、個の実態の差が大きく、グループを組んで学習を進めても、個別の課題が異なってくる。 ○45分間集中して学習することは難しかったり、学習の流れが違くと戸惑ったりする児童が多い。 ○一度覚えたことも時間が経つと忘れていくことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導計画を活用し、個別の課題達成を目指す。 ○スモールステップで目標到達を見極めつつ、次の課題の設定をし、指導を進めていく。また、個々の実態に合わせて、教科書の内容を精選し、課題内容・分量を工夫する。 ○課題を分割し、集中する時間を継続してもてるようにする。 ○年間を通して授業時数を確保することを目指し、集中力が持続できるように内容を工夫していく。 ○ICT機器を、児童の実態に応じて効果的に活用する。 ○反復練習、復習を大切にして、知識の定着を目指す。 ○一人一台のタブレット端末を活用し、児童に合ったアプリケーションを選択し、学習の習熟・定着を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期毎に追加修正した個別指導計画で、支援の改善を図り、課題達成を目指すことができた。 ○個別の課題に応じた内容で、プリントやタブレット端末を使い、習熟することができた。 ○通常級と同じドリルやワークをゆっくり進め、知識の定着を図ったり、一冊終わらせることで、子供たちにも達成感や満足感も味わわせたりした。 ○場面に応じて電子黒板を活用し、児童の興味関心を高めることができた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○学級全体として、個の実態の差がかなり大きい。 ○体を動かすことが好きな児童が多い。 ○ルールを守ることや勝敗を受け入れることが困難な児童がいる。 ○跳び箱運動や固定遊具を使った運動に苦手意識がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一緒に活動する楽しさを体感し、十分に体を動かす。学級全体、実態別グループ等、様々な学習形態を設定する。 ○走る・跳ぶ、手足の協調など、幅広い運動感覚を身に付けさせる ○初めに学習の流れを伝え、児童自身が見通しをもって、運動ができるようにする。 ○ルールの遵守、勝敗を受け入れる姿勢を身に付けさせる。 ○苦手意識のある運動にもすすんで取り組む態度を育てる。 ○ルールを設定し、遵守して活動ができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の実態に応じた学習内容や、実態別のグループで、指導内容を変えたりすることができた。 ○児童が活動の見通しがもてるよう指示を出して、活動に取り組むことができた。 ○ルールや場の設定を臨機応変に工夫し、実践したことによって、より多くの児童が意欲的に授業に参加することができた。 ○運動に応じた支援方法や、実態別グループの検討について、さらに見直しを図っていく。

<p>音楽</p> <p>図工</p>	<p>○歌が好きな児童が多く、友達と一緒に楽しみながら歌ったり演奏したりできる。技能面は、実態の差が大きい。</p> <p>○意欲的に取り組む児童が多い。よく見て描くことや、手順を理解して取り組むことが難しい児童がいる。</p>	<p>○楽器や道具の適切な扱い方を知り、友達とリズムを合わせて歌ったり、演奏したりする。</p> <p>○友達の歌や演奏を聴いたり、友達の作品を鑑賞したりする中で、自分なりの感想をもつことができる。</p> <p>○導入を工夫し、表現活動や造形活動に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>○自信をもって活動に取り組めるよう、肯定的な声かけを意識する。</p>	<p>○交流及び共同学習の学習内容が理解できるよう、ひまわり学級でも補助的な学習に取り入れて、意欲的に参加できるようにした。</p> <p>○授業中の姿勢や、集中して取り組む態度について、さらに指導・支援を進めていく。</p> <p>○手順や方法を視覚的に示すことで、児童が自分の力で課題を解決しようとする姿を引き出すことができた。</p> <p>○肯定的な声かけをすることで、児童が自信をもって歌ったり、演奏したり、積極的に活動するようになった。</p>
<p>生活 単元</p>	<p>○個別の様々な課題に応じて、学習内容を精選する。</p> <p>○自然や動植物とかかわる経験が少ない傾向がある。</p> <p>○手指の巧緻性を高めるための活動を多く取り入れる。</p> <p>○自分の思いを上手に伝えることが難しい児童が多い。</p> <p>○興味をもってタブレット端末を操作している。</p>	<p>○様々な体験を通して、生活の幅を広げ、広い視野や社会に適応する力を育てる。</p> <p>○植物や生き物を育てることを体験するとともに、自然に関する理科的な学習の動画を活用して知識として積み重ねていく。</p> <p>○スウェーデン刺繍を主とした手指活動を通して、手指の巧緻性や集中力を高める。</p> <p>○「見る」「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション活動の授業を設定する。</p> <p>○初歩的なプログラミングの操作に慣れることで、自分の考えを表現したり、友達と交流したりする。タブレット端末の操作を覚え、友達同士で伝え合う場を設ける。</p>	<p>○個別のねらいに沿った学習課題で、実施することができた。</p> <p>○植物や生き物に親しむことで、児童が協力して活動することができた。</p> <p>○買い物の経験や、手指の巧緻性の向上など、実生活に即した体験型の学習を設定し、進めることができた。</p> <p>○コミュニケーションに特化した活動を設定し、効果的に学習を進めることができた。</p> <p>○タブレット端末の操作に自信がもてるよう、タイピングの練習をしたり、得意なことを画面で伝え合ったりすることで、意欲的に取り組むことができた。</p>

<p>生活 総合</p>	<p>○交流学級の学級活動「お楽しみ会」等に参加し、楽しんで活動できる児童が多い。</p> <p>○学年課題学習として、該当学年の学習内容から精選して指導しているが、理解力の差が大きい学年もある。</p>	<p>○交流学級の児童と仲良くかかわり、お互いのことをよりよく知ることができるようにする。お楽しみ会等で、できそうな役割を果たしながら、意欲や責任感をもって、取り組めるようにする。</p> <p>○社会科・理科・生活科などを中心に、生活上必要な知識を増やしたり、技能を高めたりする。</p> <p>○学年の実態、個の実態に合わせた内容を工夫し、学習内容を精選し、指導していく。</p>	<p>○交流学級のお楽しみ会に参加し、一緒に身体を動かしたり、簡単なルールのゲーム活動をしたりして、相互理解を深めることができた。</p> <p>○学習内容によっては、学年をまたいだグループを編成し、学年課題を実施することができた。</p> <p>○学年の実態に合わせた指導内容を計画的に進められるようにする。</p>
------------------	--	--	---